

部局名

農学部 応用生物科学科

担当: 河野 智哉



テーマ

魚の健康診断



我々の食卓にのぼる「養殖魚」は、その生産過程において「様々な病気」に苦しめられています。ワクチン等が開発されている病気もありますが、対策の進んでいないものも多数存在します。

我々は、養殖魚の健康を維持・管理することを目的に、「魚版の健康診断法」の開発に取り組んでいます。具体的には、魚類の「免疫分子の動き」を遺伝子レベルで解析する方法となります。生産現場に貢献できるまで頑張ります。



詳細内容はQRコードから確認できます

養殖風景と魚の病気 (魚病)

魚病は、養殖魚の生産性・商品価値を著しく低下させます。



A: 給餌の様子

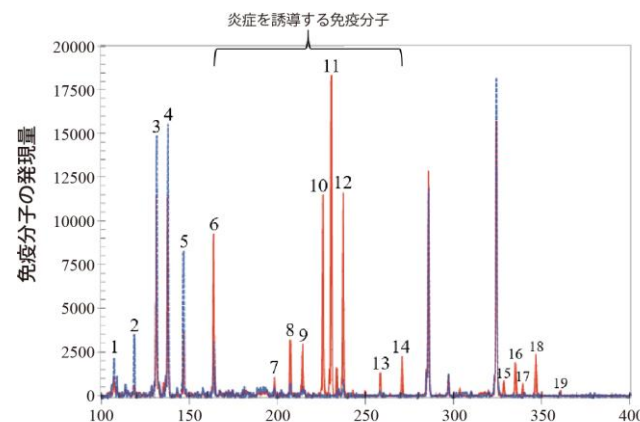


B1: ヒラマサのぺこ病 (微孢子虫感染症)



B2: マダイのエドワジエラ症 (細菌感染症)

のうがく図鑑: <http://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-abs/post-12.html>



病原体感染魚と健康魚における免疫分子 (19種類) の発現パターン

病原体の感染によって、炎症反応を制御する免疫分子の発現が増加。

赤線: 病原体感染魚
青破線: 健康魚



魚類飼育室の様子

飼育魚の健康卵の選別(写真右下)と、孵化仔魚への給餌(写真中央)の様子